

MYタウン

赤坂青山

AKASAKA AOYAMA

地元ならではの
旬なトピックスを
お届けします!

特集① 地域の防災対策はどうなっている?

いざというときの備え

現場レポート



東京ミッドタウン



桑田記念児童遊園

特集② アパレルならではの捨てない取り組み



ゴールドウイン



ナイガイ



特集① 地域の防災対策はどうなっている？

いざというときの備え

いつやってくるのかわからない地震や豪雨など、さまざまな災害への対策が日本では重要とされています。備えは日頃の心がけから。企業や港区の対策について、取材を通してレポートします

レポート

1

大規模施設の東京ミッドタウンに
隠された設備とは！

私たちの暮らす赤坂・青山は、多くの企業や複合商業施設が集まる街です。昼間の人口は居住者の約2.5倍、10万人規模にふくらみ、災害時には“都市型の防災”が欠かせません。では、この街を代表する複合施設・東京ミッドタウンはどのような備えをしているのでしょうか。

東京ミッドタウンは商業施設、オフィス、ホテル、住居、イベントスペースなどが共存する華やかな場所ですが、その裏側には高度な防災体制が整えられています。タワー屋上の緊急救助用スペースやアクティブマスダンパーによる制震機能、非常用発電装置、備蓄倉庫、非常用水槽など、建物そのものが“防災インフラ”として機能する強固なつくりです。さらに、災害時の対応マニュアルやさまざまな定期訓練など、ソフト面の取り組みも徹底されています。

また港区との協定により、一時滞在施設として帰宅困難者を受け入れる体制も整備され、地域に開かれた“都市型防災拠点”としての役割も担っています。今後、ペット連れの方への配慮など、さらなる改善にも取り組む予定とのこと。私たち一人ひとりも防災への意識を高め、安心して暮らせる街づくりにつながっていききたいものです。



緊急救助用スペース

ミッドタウンの屋上に設けられた緊急救助用スペース。災害時にはヘリコプターが上空でホバリングを行い、物資の供給や負傷者の救助活動などに活用されます。なお、機体が着陸するヘリポートではありません



非常用発電機

災害時に建物内の通信設備や基本的なシステムを維持するための非常用発電機です。現在は最大72時間（約70％供給）の稼働に対応しており、長期的な災害にも備え、6日間100％供給を可能にするための強化工事も進められています



アクティブマスダンパー

建物に加わる外部からの力を打ち消すように動く振動制御装置。もともとは風による揺れを低減するための設備ですが、地震時の後揺れを抑える効果もあります。ミッドタウンの44階には建物の対角線上に2ヶ所設置されています



非常用水槽

ミッドタウン・ガーデンの地下には、約2000トンの水を貯蔵できる非常用水槽が設置されています。地域での火災消火などに使用する雑用水として活用されます



備蓄倉庫

災害時に備えた備蓄倉庫。非常食や飲料水、簡易トイレ、医薬品をはじめ、紙おむつや乳児用ミルクなども備えられており、帰宅困難者や子どもから高齢者まで幅広い世代を支えるための物資が用意されています



避難階段

災害や火災などの緊急時に使用する避難階段。エレベーターが停止した際の安全な避難経路として設けられており、緊急時には高層階でも、まずこの階段を使って避難します



身近な公園が、災害時には避難の拠点に変身

港区では一部の区立公園を災害時の地域集合場所（隣近所の安否確認や応急手当、広域避難場所へ避難するために一時的に集まる場所で、町会・自治会等の単位で定めている）として整備しています。普段は公園ですが、避難された方々が自由に使えるさまざまな設備があります。今回は赤坂学園の隣にある桑田記念児童遊園の設備をレポートします。



マンホールトイレ

災害時に給水や電気などのインフラが寸断された際は、マンホールの蓋を外し、ワンタッチ式 TENT を設置して仮設トイレとして使用できます。桑田記念児童遊園のマンホールトイレは水洗式で、衛生面にも配慮されているのが特徴です



かまどベンチ

普段は休憩用ベンチとして利用されていますが、災害時には硬貨などを使って座板を外し、炊き出しなどに使える「かまど」として活用できます。日常と防災を兼ね備えた、地域を支える設備のひとつです



防災プランター

災害時に使用できるガーゼやウェットティッシュなどの備品が収納されています。必要な際にすぐ取り出せます



防災用井戸ポンプ

取っ手を付けて手でくみ上げる防災用井戸ポンプ。生活用水やマンホールトイレ用水として使用できます（飲用不可）



土のうステーション

浸水被害を軽減するための土のうです。地域の方が無償で利用できます（使用後は衛生上の理由から返却不要）

万に備えてトイレに備蓄

災害時に備えてトイレトーパーを備蓄。他の公園で不足した際にも供給できる量を保管しています



地域を守る消防団って!?

普段、さまざまな仕事についている人たちが「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神のもと、消防署と連携して地域の安全を守る非常勤の公務員です。赤坂消防署管内の赤坂消防団は昭和22年（1947）に設立され、昭和29年（1954）に現在の本団と3つの分団の体制になりました。団員募集中です。興味のある方は近くの消防署へお気軽に問い合わせください。



港区総合防災訓練（赤坂会場）レポート

令和7年（2025）11月2日（日）、港区立青山中学校にて港区総合防災訓練（赤坂会場）を実施し、1,026名が参加しました。応急救護や家具下敷き救出訓練のほか、消火体験、マンホールトイレ組立、はしご車搭乗、VR・AR体験など多彩な体験型訓練を実施しました。参加者の防災意識と自助・共助への理解を深める有意義な訓練となりました。※P7も参照



事前の準備が大切「家庭・個人で備えるべきこと」リスト

チェックしてみよう

準備（ストック）しておくもの

- ☐ 食料品／飲料水
（1人1日分＝保存水：3ℓ／食料：フリーズドライご飯／ご飯温め用ヒートパック加熱剤／バランススティック／缶詰）
※食料は7日分以上のストックが目安。消費期限を見ながらローリングストック
- ☐ ランタン、LED電灯、携帯トイレ、マスク、タオル、ティッシュ、トイレトーパー、体拭きシート、ウェットティッシュ、アルミシート、折りたたみ式ウォータータンク、乾電池
※定期的に作動や状態、使い方を確認しましょう

事前に準備したり確認するもの

- ☐ 感震ブレーカーの設置
- ☐ 家具の固定
- ☐ ベッド周辺に懐中電灯や自動点灯するライト
- ☐ 水害に対応した土のうの準備や対処方法の確認
- ☐ 地域住民間のコミュニケーション強化
- ☐ マンション特有の備え（地震直後の排水（キッチン・トイレ等）の禁止事項の徹底）



港区家具転倒防止器具等助成

アパレルならではの捨てない取り組み

楽しみながらできる、“ロングライフ”な活動を体験

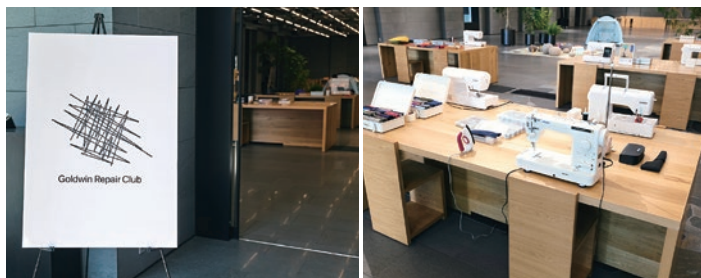
洋服は毎日身につけるものだけに、とても身近な存在。
赤坂・青山には多くのアパレルメーカーがあります。廃棄などの問題があるだけに、
捨てない取り組みに力を入れたりします。実際の活動について、見てきました！

自分でやってみよう！直して作って、ロングライフに貢献 ゴールドウイン

DATA 北青山3-5-6



公式HP



セルフリペア | 他社製品 OK、家にある服を直してみよう

北青山に東京本社を構えるゴールドウイン。日本でTHE NORTH FACEや自社ブランドも手掛ける大手アパレル企業です。昭和54年（1979）からリペア対応に取り組んでいて、5月16日（土）・17日（日）に東京本社のイベントスペースで、第1回「Goldwin Repair Club」を開催。参加者自身が衣服を補修する体験を通じて、「壊れたら捨てる」のではなく「直して長く着る」という選択肢を広げる試みです。

今回、編集委員がイベントを体験してきました。体験した委員は、家庭科でミシンを使った記憶すらないというミシンの初心者。チノパンのポケットに空いた穴のリペアを実践するため、たたき縫いという方法で直すことに。

余談ですが、ミシンは、ボタン1つでたたき縫いが終わる高機能ミシンか、自分で都度角度を変えてたたき縫いができる従来のミシンを選べたのですが、自分でリペアした感を得るために従来のミシンでやってみることに。まず最初に、初見では難しすぎるミシンへの糸の掛け方を丁寧に教えていただき、たたき縫いスタート。

さて最後に、アウトドアウェアの縫い目に施され防水機能を持つ「シームテープ」の穴をふさぐ圧着修理も体験。穴をふさぐだけであればヒートプレス機を使うだけの修理ですが、見た目にも綺麗な仕上がりを求めるならば、穴に沿って少しだけ山なりにした状態をアイロンで仮止めする繊細なアクションが求められます。奥が深いリペア体験でした。

Goldwin Repair Clubは今後定期的な開催を予定しており、将来的には地域コミュニティ・学校・企業などとの連携拡大も視野に入れているそうです。



たたき縫い ほつれてしまった穴のリペアにチャレンジ。ミシンを使うので難易度は高そうです……

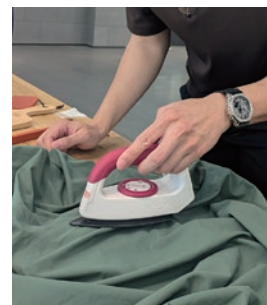


完成

完成！ 我を忘れて没頭していたらいつのまにか終わり、“味のある”たたき縫いリペアができ上がりました。楽しいものです



裂けてしまったナイロンのウエアを修理してみます。本当に直せるのか!?



圧着修理

テープを圧着していきます。立体部分はただ合わせるだけでなく、少し重ねるなどの工夫が必要です



見事リペア完了。よく見ないとわからないほどになったのは驚きです。これで着続けることができますね



自社工場から出た残反を使って小物づくり。必要な道具もすべて用意してあります



セルフリペア・ワークショップともに事前予約制（先着順）で、費用は無料です。今後の開催予定は特設サイトで確認してください

ワークショップ | 残反がおしゃれな小物に変身！

ミシンに触れるのは本当に久しぶりでしたが、スタッフさんの優しい指導で素敵な作品が完成しました。ワークショップ後すぐ、友人に見せたくて会いに行ったほど感動し、大好きだった祖母が残した着物や街で見かける布でさえ、何かに生まれ変わる可能性を感じるようになりました。残反を活用する取り組みはサステナビリティを学ぶ機会にもつながるため、地域の子どもたちにもワークショップで楽しいものづくりを体験してほしいです。



業務用ミシンを使って縫っていきます。やったことがなくてもスタッフが丁寧に教えてくれます

世界にひとつ、自分だけのスマホ入れが無事完成しました



好きなワッペンをアイロンを使って圧着します



完成

靴下の老舗ならではの DIY ワークショップ ナイガイ

DATA 赤坂7-8-5 ☎03-6230-1650（代表）



赤坂に拠点を置く、日本を代表する老舗靴下メーカー「株式会社ナイガイ」。靴下やストッキングなどの企画・製造・販売を手がけています。ライセンス事業では、海外ブランドやキャラクター商品を展開しており、幅広い世代に親しまれています。自社ブランドでも豊富なラインナップを揃え、近年ではアウトドア向けブランド「NAIGAI TRAIL」や、鉱石プリントを施したりカバリーシリーズ「整TOTONO」などが人気です。



ワークショップ

ナイガイでは、地域に根差したSDGsの取り組みの一環として、令和7年（2025）から「つながるプロジェクト」を実施しています。今年の7月に実施した「くつしたエコラボ」では、子どもたちを対象に、普段は一般公開していない「靴下博物館」の見学や、靴下の端材を活用したものづくりワークショップを行いました。



靴下の端材を活用したワークショップの様子。子どもたちは思い思いの色を選び、オリジナル「タワシ」づくりに取り組んでいます。靴下の端材が、まだ使える素材として価値を高める「アップサイクル」によって、色鮮やかなタワシに生まれ変わります。参加者は時間を忘れ、夢中になって取り組んでいるそうです。



「足の健康測定会」では、専用機器による2Dスキャンで足の状態を可視化。年代や性別による特徴の違いも把握できます。

令和6年(2024)に有志で発足した「SDGs委員会」。100年後の社会や未来の子どもたちのために、今できる取り組みを探りながら活動しています。



「靴下博物館」は通常一般公開されていませんが、見学の機会があれば、靴下の歴史や製造の背景を学べます。



赤い靴下はジャイアント馬場氏特注の巨大靴下。その右側にあるのが吉田茂元首相が使用していたお洒落な靴下！

100年続く、老舗を訪ねる

創業 235 年！ 赤坂の路地裏で楽しむ、鰻の名店 ～重箱～

※事情により、連絡先は載せていません

1790年創業、赤坂の都心に佇む老舗鰻店。都会の喧騒を忘れさせる静謐な日本家屋と美しい庭園が迎えてくれます。「素材ありき」を信念とする八代目・大谷晋一郎さんが守るのは、歴史の重みと、時代に合わせて進化を遂げる味わいです。静岡県を流れる大井川の伏流水で2年育てられた健康な鰻を、店の井戸水で泳がせてから直前に捌きます。一切の雑味がない鰻と名物「鯉こく」は、伝統を受け継ぐ至高の逸品です。祝いの席や特別なご褒美に、江戸の粋を今に伝える名店で至福のひとつときを。



八代目となる大谷晋一郎さん。伝統を深めることが、時代を先駆けると信じています。

すべて個室で、手入れされた庭を見ながら食事が楽しめます。



素材が全てと言いつける仕事に迷いはありません。



赤坂の路地にあり、昭和30年(1955)に手を加えられて現在に至ります。



江戸時代、創業の地である現在の台東区東浅草で掲げられていた店名が残されています。「山谷重箱」「鮎屋儀兵衛」の文字が読み取れます。



疎開先の熱海から戻る際に贈られた寄せ書きには志賀直哉などの名前が。食卓の裏に書かれた貴重なものです。

INFORMATION

〔インフォメーション〕

地域 だより

Vol.16

青山公園

港区南青山二丁目21番12号

噴水開放日時：2026年6月1日～9月30日 [午前9時～午後5時]

「ヘビ公園」の愛称で親しまれている青山二丁目の水遊びが楽しめる公園です。昭和35年(1960)に開園となかなか歴史があり、親子3代で楽しまれている方も。夏にはプチプレパークを開催しますので、ぜひ遊びにきてくださいね。



大きなケヤキがつくる木陰の下で、プチプレパークを開催。ヘビを模した水鉄砲遊びや、じょうろを使った水の掛け合いなど、暑い季節ならではの遊びが人気です

噴水稼働期間中は、涼を感じながらくつろげる憩いの場に。浅い水場は、子どもたちが安心して楽しめる水遊びスポットとして人気です



水と緑が魅力の憩いの公園です。散策や休憩、子どもの遊び場として親しまれ、夏には噴水が稼働し水遊びも楽しめます。春は老木ながらも美しい桜が咲き、家族連れにも人気です



ブランコ、砂場、複合遊具を備えた人気の遊び場です。午前中は保育園児、午後は小学生でにぎわい、安全に配慮した環境の中で安心して遊ぶことができます

●問合せ／高橋是清翁記念公園管理事務所
電話) 03-6384-5113
FAX) 03-6384-5116
受付時間
8:30～19:15 (4月～9月)
8:30～17:15 (10月～3月)

赤坂警察からのお知らせ

トップ画面

犯罪発生情報や防犯情報を地図でお知らせ
地図上をタップすると詳細な犯罪発生情報を表示



国際電話番号 ブロックシステム

サギ電話の多くを占める
国際電話番号や警察が
把握した犯行利用電話
番号をブロックします！



マイ地点登録

ワンタップで登録した
地点が中心の地図に



痴漢撃退機能

声を出さなくても周囲に助けを
求めることができます



防犯ブザー

画面をタップすると
ブザー音が鳴ります



※画面はイメージです



**無料防犯アプリデジポリスに
国際電話番号をブロックする
新機能を搭載!**

※本機能は通信キャリアや端末により利用できない場合があります。

ダウンロードはこちら
※ダウンロードは無料ですが、
通信費がかかります

iOS Android

**STOP
詐欺被害
警視庁防犯アプリ
デジポリス**

警視庁赤坂警察署
03-3475-0110

国際医療福祉大学大学院

東京赤坂キャンパス公開講座（2026年後期） 乃木坂スクール（10月から順次開講）

【講座例】

- ・生成AIを使いこなす実践入門－AIエージェント、医療・介護、アプリ作成まで－
- ・医薬品の安定供給を考える－国際的な相互依存の中で、生命と医療機能を守るために－
- ・加工食品を考える～UPF（Ultra-Processed Foods）をめぐる議論～

「乃木坂スクール」は、国際医療福祉大学大学院が運営・開催する、広く社会人の方々を対象とした公開講座です。医療福祉の幅広い領域をカバーするとともに、私たちが直面する課題や時代の潮流を先取りしたテーマなど多彩です。知識の幅を広げようとする方はもちろん、実践的な専門知識やスキルを高めた方にも適した内容となっています。キャンパスでの対面受講とオンライン受講を併用し、スケジュールに合わせ無理なく受講が可能です。皆様からのお申し込みをお待ちしています。



【港区割引】 港区内に在住の方、在職の方は受講料が割引となります。
・お住まいの方→半額 ・お勤めの方→3割引き

●問合せ／国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス 公開講座
乃木坂スクール事務局
〒107-8402 東京都港区赤坂 4-1-26
電話受付時間 平日11:00～17:30
☎03-5574-3902
nogizaka@ihwg.jp



詳細・申し込み

港区総合防災訓練（赤坂会場）

煙ハウス体験や子どもコーナー等の20～30の訓練・体験ブースをご用意しています。防災AR消火体験、防災VR火災臨場体験、ドローン体験なども予定しています。防災について勉強するいい機会です！是非おこしください。開催間近になりましたら港区HPや、公式X(旧Twitter)等でお知らせします。



実施日時 令和8年11月1日（日）午前9時30分～午前11時30分
実施会場 青山中学校（北青山1-1-9）グラウンド、多目的ホール 他
対象 どなたでも（入場無料）

●問合せ／港区赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係
☎03-5413-7272
営業時間：8:30～17:00まで（土曜、日曜、祝日は除く）

「赤坂青山 美しいまち マナーのまち」キャンペーンに参加しませんか？

【主な活動内容】

喫煙マナー・ルール向上の啓発活動／清掃活動
放置自転車・放置バイクへの警告札の貼付など



港区HP

【9月・10月・11月の予定】

実施日	時間	活動場所	集合場所	港区HP
9月24日（木）	9：00～10：00 （受付9：00～）	溜池山王駅周辺	赤坂スターゲートプラザ前	
9月25日（金）	9：00～10：00 （受付9：00～）	青山一丁目駅周辺	新青山ビル 青山通側	
10月22日（木）	9：00～10：00 （受付9：00～）	赤坂見附駅周辺	赤坂見附交番前	
10月23日（金）	8：40～10：00 （受付9：00～）	外苑前駅周辺	外苑前歩道上北青山吉川ビル前	
11月26日（木）	9：00～10：00 （受付8：40～）	赤坂駅周辺	赤坂Bizタワー アネックス1 赤坂通り側	
11月27日（金）	9：00～10：00 （受付8：40～）	表参道駅周辺	秋葉神社前	



●問合せ／赤坂地区総合支所
協働推進課 協働推進係
☎03-5413-7272



赤坂親善大使のグッズを販売・配布しています！

赤坂・青山のマスコットキャラクター「赤坂親善大使」は、地域で行われる様々なイベント等に出演しています。赤坂地区総合支所（赤坂コミュニティプラザ）では、赤坂親善大使のぬいぐるみやぬいぐるみストラップの販売をしています！



赤坂親善大使
Facebook



港区HP

●問合せ／赤坂地区総合支所
協働推進課 地区政策担当
☎03-5413-7013

MYタウン赤坂青山の感想をお聞かせください！

右記、二次元コードからご確認をよろしくお願いいたします。皆さまからいただいた回答は、次号以降を作成するうえで参考にさせていただきます！ 皆さまからのご意見お待ちしております！



二次元コード

●問合せ／赤坂地区総合支所協働推進課
地区政策担当 ☎03-5413-7013

編集委員おすすめの「地元で気になるお店訪問」

Best local place



赤坂通り「赤坂の夢」。気になっている人は多いと思います

赤坂の夢 あかさかのゆめ

外から見てもとても気になる
昭和レトロな純喫茶

●赤坂6-4-20 赤坂ヴィラージュ2F

赤坂村にある小さな喫茶店「赤坂の夢」。33回転のレコードからの音楽がながれる店内には、赤坂生まれ赤坂育ちの店主、山内さんがお迎えます。赤坂ファンをはじめ地域の方々がたくさん集まる場所ですが、他地域からの方も、もちろんウェルカム。47年間赤坂の人々に愛された喫茶店「まつもと」にあった机をはじめ、赤坂に関するさまざまなものが置かれています。

そして、MYタウン赤坂青山もありました！メニューはコーヒーなどの飲み物をはじめ、焼うどんなどの食事もありますが、名物は6種の具材の「夢のドライカレー」です。

※おことわり：喫茶 赤坂の夢は充電期間に入ることになり、惜しまれつつも7月末をもって閉店されました。

中島みゆきの曲が特にお気に入り。店主の山内さん

名物「夢のドライカレー」。
みなトクPayも使えます



雰囲気のある内装。ガラスの机は「喫茶室まつもと」にあったものです



AOYAMA GOURMET MART 青山グルメマート

「美味しいもの」に出会える
食のセレクトショップ

●南青山2-10-11 A青山ビル1階 ☎03-6388-1400

青山通りから一本入った路地にある、鮮やかなブルーと赤いロゴが目印のお店。こちらは令和5年(2023)9月にオープンした食料品やワインの販売とレストランが一つになったグルメショップです。

店内にはスタッフが厳選したワインや調味料、お菓子などが棚に並び、ネット販売でも手に入りにくい生産量の少ない商品も取り扱っています。商品の魅力が書かれたプライスカードをひとつひとつ読むのも楽しく、つい手に取ってしまいます。また、購入した



「美味しいものがある店と言っていただけののがうれしい」と語る酒井店長

商品は店内のカウンターでいただくこともできるそうです。

普段使いはもちろん、特別な日のワイン選びやギフトなど、様々なシーンで利用できる、気軽に立ち寄りたくなるお店です。



ここでしか出会えない商品もあります



奥の飲食スペースでパスタも楽しめます！



Instagram



幅広い価格帯のワインが揃っています

【赤坂・青山 地域の活動】赤坂消防団

地域で活躍する 方々を紹介

Vol.40

赤坂消防団1分団 部長

関根一宏さん
せきね かずひろ

赤坂消防団1分団 班長

章子さん ご夫妻
あきこ

たりと、地域の防災力を高める取り組みも行っています。地域とのつながりの中で、安心して暮らせるまちづくりにも関わっています。



活動の内容を教えてください

消防団は、会社員や自営業、学生など様々な職業や立場の方で構成される非常備の消防機関です。火災や風水害、地震などの災害が発生した際には、消防署と連携しながら火災への対応や人命救助、避難の支援といった活動にあたります。平常時には、防災訓練を行ったり、応急手当の知識を広め



命救助、避難の支援といった活動にあたります。平常時には、防災訓練を行ったり、応急手当の知識を広め

活動する中でのやりがいや大変さについて

仕事や家庭と並行して消防団活動に参加するため、両立が課題となることもあります。実際に、子どもがまだ乳児の頃に夫婦で入団し、小学校に入学するまで活動を続けるのは本当に大変でした。それでも、活動を通じて地域とのつながりが深まることは大きなやりがいです。団員同士の交流や活動は、子どもの見守りにもつながっており、安心・安全な子育て環境の形成にも寄与していると感じます。また、活動は強制ではないため、自分のペースで地域に貢献できる点も魅力です。

今後のこの活動について

赤坂・青山地域には、細い道や坂など、災害時に課題となりやすい場所が多く存在します。そのため、これまで以上に防災意識や安全意識の向上を図り、「生活者」「子育て世帯」「消防団」という三つの視点から情報発信を行っていきます。消防団の活動に興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

赤坂消防団WEBSITE



●芝地区総合支所『しばタグ』●麻布地区総合支所『ザ・AZABU』●赤坂地区総合支所『MYタウン赤坂青山』●高輪地区総合支所『みなとつづ』●芝浦港南地区総合支所『べいあぷ』を定期的に発行しております。支所内各戸配布のほか、港区立図書館（高輪図書館分室を除く）・各いきいきプラザで閲覧可能です。



赤坂・青山地域情報誌 第70号 令和8年(2026)7月発行 (発行部数：23,300部)
編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング 地域情報の発信・交流分科会
発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課
〒107-8516 港区赤坂4-18-13 TEL：03-5413-7013 FAX：03-5413-2019